

2019年9月6日

報道関係者各位

湘南ヘルスイノベーションパーク

未病ビジネス化コンソーシアム「湘南会議」が実証実験を開始

RIZAP グループ、アフラックが神奈川 ME-BYO リビングラボを活用し、湘南ヘルマーレファンクラブにて実施

湘南ヘルスイノベーションパーク（以下、「湘南アイパーク」）は、この度、RIZAP グループ株式会社（以下、「RIZAP グループ」）、アフラック生命保険株式会社（以下、「アフラック」）が、神奈川 ME-BYO リビングラボプログラムを活用して共同で「湘南会議」の実証実験を開始したことをお知らせします。

「湘南会議」は、湘南アイパークのファシリテーションのもと、神奈川県（未病産業研究会）、藤沢市、鎌倉市の支援を受けて実施された、未病のビジネス化を目指した複数の民間企業が共創するコンソーシアムです。第一期では、2018年11月～2019年3月にビジネス化に向けた議論を進めました。その中で、趣味やコミュニティといった個々の嗜好に基づいた、健康増進に向けた運動習慣の定着プログラム（趣味コミュニティアプローチ）が発案されました。

この度、当プログラムの実効性（行動変容の可否、健康指標の改善の有無）を検証すべく、神奈川県の実証実験を実施する運びとなりました。実証実験は、同会議の参加企業であるRIZAPグループおよびアフラックが主体となり、湘南ヘルマーレファンクラブにて実施します。また、当プログラムは同会議のオプザーバーである神奈川県の実証実験プログラム「神奈川ME-BYOリビングラボ」を活用して実施します。

当実証実験は2019年度中に完了し、2020年度には当プログラムの商品化に移行する予定です。

■神奈川 ME-BYO リビングラボ

神奈川 ME-BYO リビングラボとは、神奈川県民が安心して未病改善に取り組むことと、未病産業の持続的発展の促進を目的に、市町村や健康経営を実践する企業等と連携して、県民参加の実証フィールドを創出し、未病関連商品・サービスの検証・評価を行う仕組みです。神奈川県では「神奈川 ME-BYO リビングラボ」を通じて、SDGs の取り組みを推進しています。

以上

湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク）について

湘南アイパークは、サイエンスにおけるイノベーションを強化するために、武田薬品工業株式会社が湘南研究所を開放することにより設立されました。製薬企業が有する創薬ノウハウを基盤として、ベンチャー、スタートアップを含む産官学が結集し、ライフサイエンスにおける最先端技術・知見を活用したアイデアの創出・実現を可能とするイノベーションを加速化することを目指しています。



本プレスリリースについてのお問い合わせは下記までご連絡ください。
湘南ヘルスイノベーションパーク コミュニケーション
担当：鳴海、日比野
Mail : smb.iParkcommunication@takeda.com

広報窓口：株式会社コスモ・ピーアール内
担当：藤崎
TEL: 03-5561-2915 Mail : ipark@cosmopr.co.jp